

人権センター 図書だより



Vol.21 令和3年5月26日発行

発行：四日市市人権センター

TEL.354-8609 FAX.354-8611

jinkencenter@city.yokkaichi.mie.jp

新年度から早くも2か月が経とうとしています

若葉の鮮やかな季節となりましたが、このコロナ禍のため、なかなか外出の機会もないと思います。フラストレーションも溜まりがちかと思いますが、せっかくのお家時間、読書にあててみるのはいかがでしょうか？人権センターでは、様々な人権に関する本を取りそろえています。スマートフォンの画面ではなく、活字を読んで、ほっこりお茶でも飲んで、いつも忙しく働いている頭を休ませてみませんか？

おすすめの図書を一部紹介しますので、ご興味があれば人権センターまでご連絡ください。

📚 新着図書より 一部紹介 📚

今という時代を、機嫌よく生きるために…

『不機嫌のトリセツ』

(J-5-242 黒川伊保子 著 河出書房新社)

『妻のトリセツ』『夫のトリセツ』シリーズの著者の最新刊です。昨年から続く新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、多くの方々が日常生活の急激な変化を強いられています。不要不急の外出はできない、密閉、密集、密接を避ける現在の生活は、家族や同僚、友人などとのコミュニケーションも満足にとれずに、互いの不機嫌を一層つのらせる結果となっています。家族間のイライラ、男女間のムカムカ、職場でのモヤモヤ、コロナ禍のギスギス……。

誰しもが、時に不機嫌になることは仕方のないことですが、本書は、自分が不機嫌にならない方法はもちろん、不機嫌な相手への対処、そして、相手を不機嫌にさせない、毎日を楽しく快適に過ごすための知恵とテクニックが紹介されています。

命がけでコロナに立ち向かった小さな病院の記録

『臨床の砦』

(J-5-241 夏川草介 著 小学館)

本書は、現役医師としてコロナ禍の最前線に立つ著者が自らの経験を克明に綴ったドキュメント小説です。

長野県の信濃山病院という感染症指定病院を舞台に、コロナ診療の最前線の様子を描いています。

「対応が困難だから、患者を断りますか？病棟が満床だから拒絶すべきですか？残念ながら、現時点では当院以外に、コロナ患者を受け入れる準備が整っている病院はありません。筑摩野中央を除けば、この一帯にあるすべての病院が、コロナ患者と聞いただけで当院に送り込んでいるのが現実です。ここは、いくらでも代替りの病院がある大都市とは違うのです。当院が拒否すれば、患者に行き場はありません。それでも我々は拒否すべきだと思うのですか？」——本文より

息苦しさへの処方箋

『生贄探し 暴走する脳』

(J-5-240 中野信子、ヤマザキマリ 著 小学館)

「なぜ、誰かが得すると自分は損した気になるの？」
Go To トラベルも、社会全体の経済をよくするため、「あの人だけ、いい思いをするなんて許せない！」とモヤっとした人は少なくありませんでした。

誰の心にもそんな負の感情が湧きあがることがありますが、本書は、ヒトは放っておけば生贄を探してしまう生き物だと語ります。このパンデミックでは、コロナ禍で奮闘する医療者までも生贄探しの対象になりました。むき出しになった正義中毒に誰もが「他人の目が怖くて」自粛。巣ごもりで毒親に悩むケースも目立ちました。脳科学者の中野信子さんと、漫画家・随筆家で世界各国に暮らし異文化を経験したヤマザキマリさんが、そうした経験を無駄にせず、知恵に変えるためにヒトの本質を鋭く分析。心豊かに生きる方法を提案します。

人と違うことは素晴らしい

『発達障害で IT 社長の僕』

(F-217 齊藤秀一 著 幻冬舎)

自分には生きていく価値がない——。

本書は、土木作業員、営業マン、ウェイターなど転職を繰り返していた著者が、発達障害グレーゾーンの特性を IT 分野で活かし、経営者になるまでの体験記です。

著者がこれまでに感じてきた生きづらさや、自分の居場所を見つけるための気づきとなった出来事を通して、障害を才能に変え、自分の居場所を見つけるためのメッセージが込められています。

子どもの頃に感じていた親には言わないこと、大人になって初めて見つけた居心地のいい場所、その延長線上に生まれた自身が本当にやりたいこと——。

そうした経験から得た、社会の中で自立していくためのヒントを紹介しています。

入荷月	書名	著者等	出版社等	分類番号
3	満天の星空 障害のある人たちの東日本大震災	編) きょうされん広報・出版・情報委員会	きょうされん	F 215
3	鎮魂から復興へ 障害のある人たちの東日本大震災	編) きょうされん広報・出版・情報委員会	きょうされん	F 216
5	生贄探し 暴走する脳	著)中野信子・ヤマザキマリ	講談社+α新書	J-5 240
5	臨床の砦	著)夏川草介	小学館	J-5 241
5	発達障害でIT社長の僕	著)齋藤秀一	幻冬舎	F 217
5	子どものための精神医学	著)滝川一廣	医学書院	F 218
5	不機嫌のトリセツ	著)黒川伊保子	河出書房新社	J-5 242



今年度開講予定「よっかいち人権大学 あすてっぷ 2021」に関する図書を紹介しています。ぜひお立ち寄りください。

「よっかいち人権大学 あすてっぷ 2021」

① 6/12 (土) 13:00~15:30	開講式/記念映画 映画「カノン」 「アルコール依存症」についてメッセージ ~私たちが知っておきたいこと~ 泊ファミリークリニック 医師 猪野 亜朗さん
② 6/26 (土) 13:30~15:30	「読書バリアフリーから 情報バリアフリーへ」 ~インクルーシブな社会をめざして~ 講師: 四日市市立図書館 司書 中村 成孝
③ 7/3 (土) 13:30~15:30	ろう・難聴 LGBT の存在を知ってもらうために 映画「11歳の君へ ~いろんなカタチの好き~」 ビデオメッセージ映画監督 今村 彩子さん
④ 7/10 (土) 13:30~15:30	「児童虐待の現実から見えるもの」 講師: 三重県児童相談センター市町アドバイザー 鈴木 聡さん
⑤ 8/9 (月) 振替休日 13:30~16:00	映画「ケア二」 ~こころに咲く花~ 「認知症」についてメッセージ ~認知症フレンドリーな社会に向けて~ 四日市市高齢福祉課 職員
⑥ 8/28 (土) 13:30~15:30	「発達障害者の就労支援の現状と課題」 講師: NPO 法人 ライフ・ステージ・サポートみえ 正木 淑子 さん 荒田 晴紀 さん
⑦ 10/30 (土) 13:30~15:30	「犯罪被害者の人権と支援について」 講師: 公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター 副理事長 仲 律子 さん

やさしさと思いやりのある社会をめざして



人権尊重宣言都市 四日市市